BOOk DeSiGN-CLAMP



KCM3277

KC MAGAZINE

ツバサ —RESERVoir CHRoNiCLE—

1

CLAMP

講談社

9784063632774

1929979003906

雑誌 42260-77

ISBN4-06-363277-6

C9979 ¥390E (0)

講談社

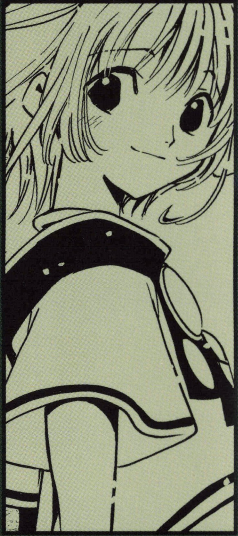
定価：本体390円（税別）

「翼」を探す少年の旅が始まる!!

玖楼国に住む小狼とさくら。立場の違いを越え想いを通わせる二人だったが，突如現れた刺客によりさくらに異変が起こり，全ての記憶を失くしてしまう！

——さくらを救う方法はただ一つ——

『異世界に飛び散ったさくらの「羽根」を探し出すこと』

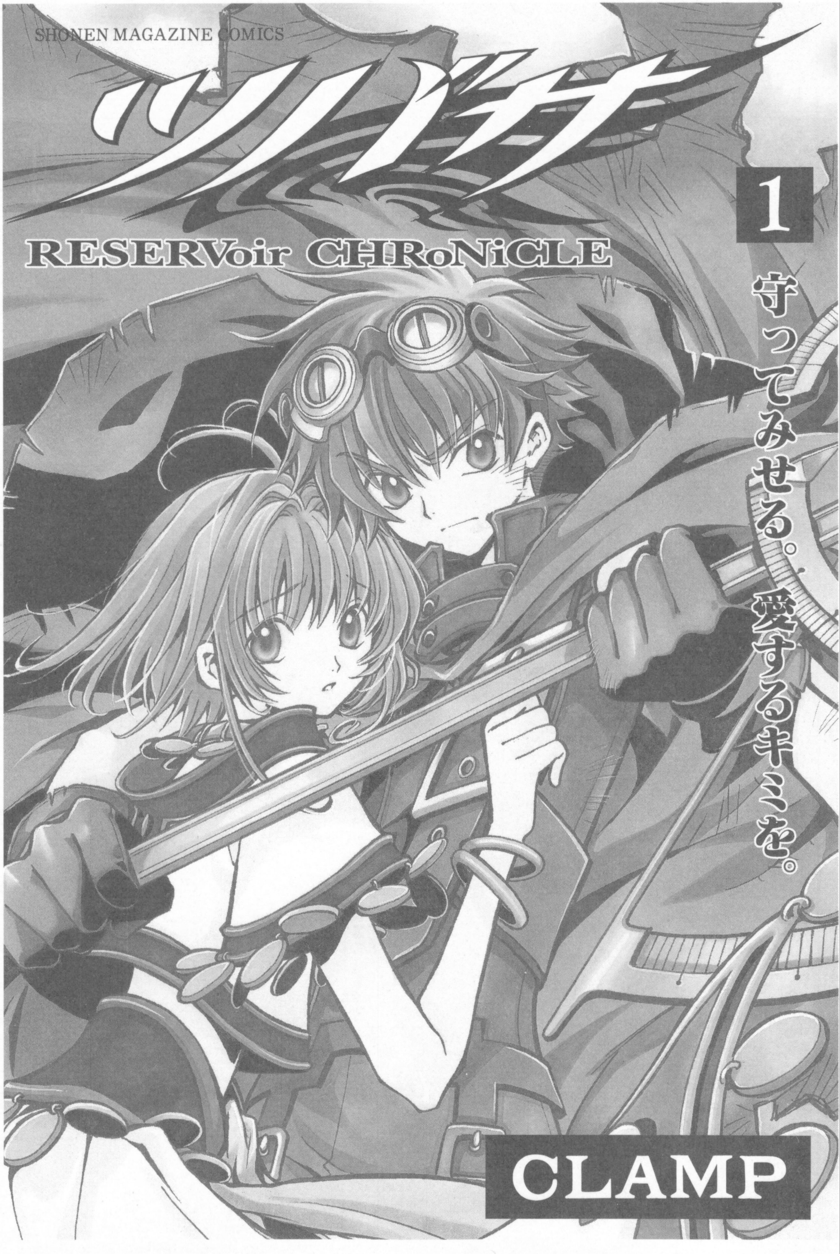




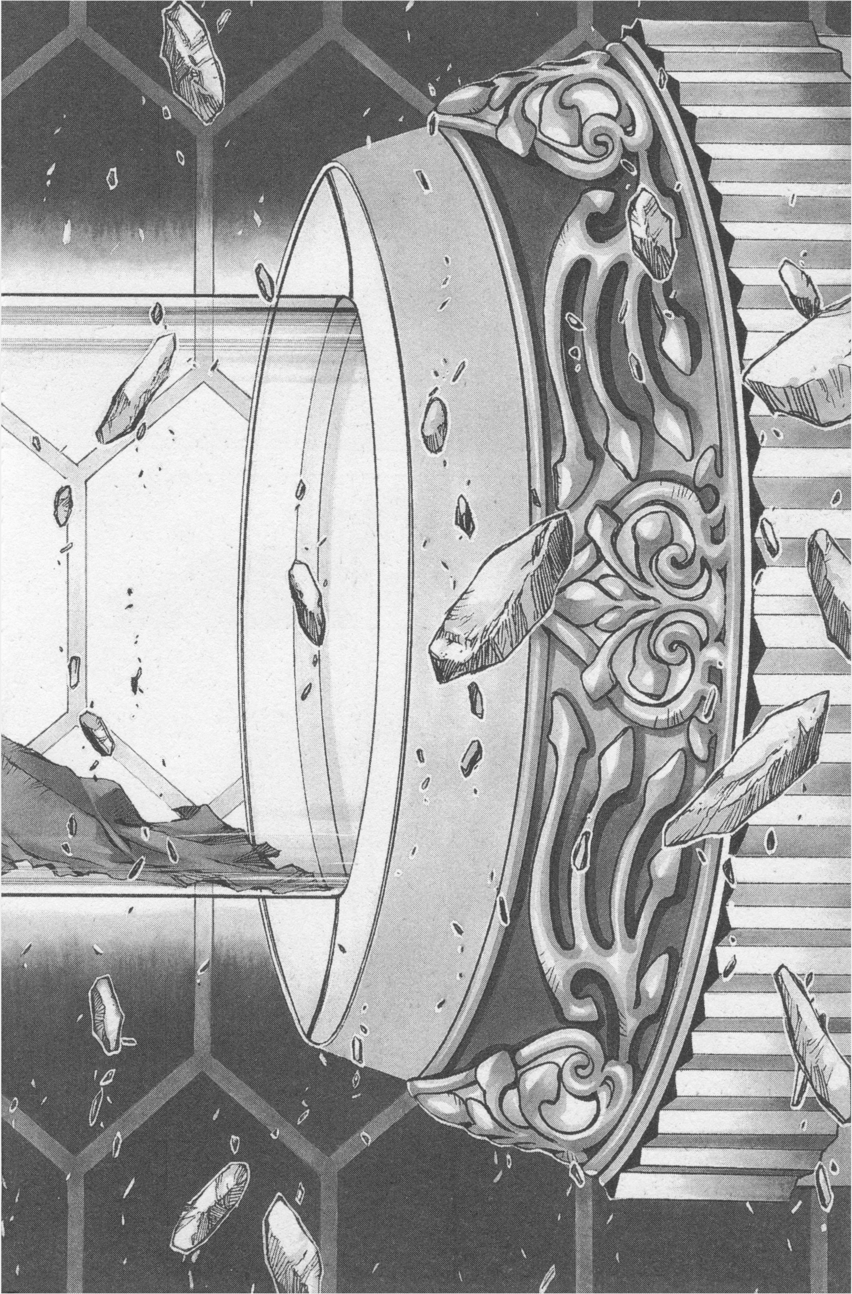


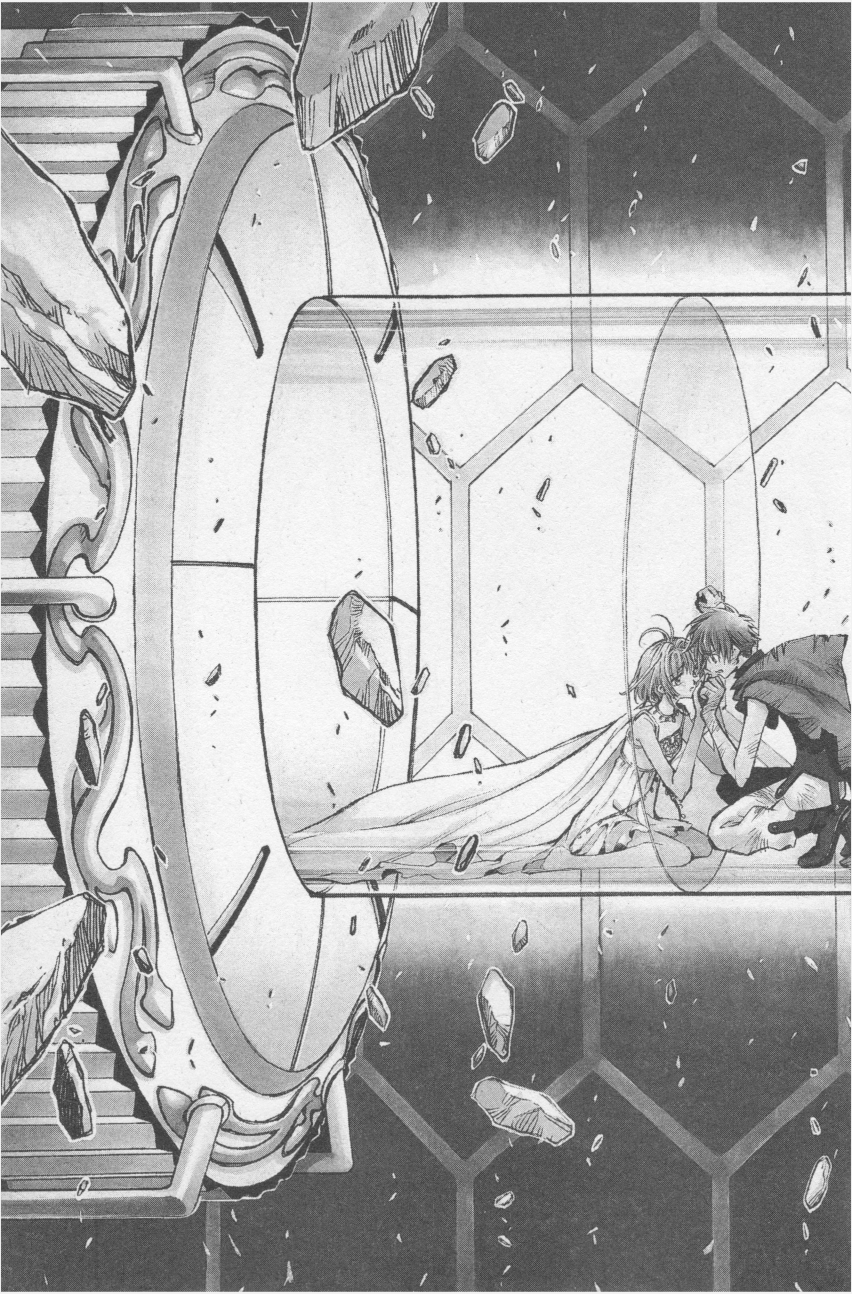
SHONEN MAGAZINE COMICS

「行きます。さくらは絶対、死なせない」


SHONEN MAGAZINE COMICS
ツバサ
1
RESERVoir CHRoNiCLE
守ってみせる。愛するキミを。
CLAMP
















さくら――!!!



Chapitre(シャピトル).1 始(はじ)まりの世界(せかい)

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


クロウこく
玖楼国
ザッ
たたっ
キイ
とん



ガパ
ただいま
父さん
やっぱり この国の遺跡は 殆どが砂の下に 埋まってる みたいだよ
父さんが 考えてた通りだ
西の遺跡は もう随分 発掘が 進んで‥‥
どんどんっ
どんどん
カチャ
はい


小狼！
ドサッ
わっ！
おかえりなさい！
遺跡の発掘どうだった!?
怪我は!? 熱とか出なかった!?
ごはん ちゃんと食べてた!?
は はい
大丈夫でした・・・・
敬語ヤだって言った
でも
姫・・・・
さくらって呼んでって言った
はい
あ いや
う・・うん・・・・


ずい
さくら
さ
さ…さくら…
えへへ〜
はっ
ごめんなさい！重いよね！
ちょこん…
ほんとにおかえりなさい 小狼
ほの ぼの
ただいま
良く分かり…
分かったな
おれが帰ってきたって


今日
遺跡発掘隊の人達が
お城に来るの
発掘状況の
報告にって
城にいなくて
いいのか?
報告を聞くのは
王である兄様の
お仕事だもん
ガーン
ぴょんこ
発掘隊の人が
お城に来るなら
小狼もお家に
もどってきてると
思って
まさか‥‥
また ひとりで?
がくー
うん
相変わらず わたしが
小狼とこ行くっていうと
兄様 ご機嫌
ナナメになるのよ
小狼は
わたしの大事な大事な
幼なじみなのに
ね


もう七年になるのね
小狼と小狼のお父様がこの国に初めて来てから
他国の考古学者である小狼のお父様がこの国 玖楼の遺跡に興味を持ってくださって


この国の砂漠には埋もれた遺跡がある筈だって
それを発掘できればこの国の歴史が分かると前国王であるお父様を説得なさって
危険が伴う砂漠での発掘作業のための準備をずっと進めてらして‥‥
準備がやっと整って発掘が始まって‥‥


遺跡の発掘中に亡くなったけど
幸せな人生だったって
最後に父さん笑ってたよ
お父様が亡くなった時一緒に住みましょうって言ったのに
おれが城に住むのはヘンだよ
ヘンじゃないもん! 小狼はわたしの幼なじみだもん!
王族でもない民間人が城で暮らすなんてできないよ
それに遺跡発掘の手伝いで十分 暮らしていけるし
でも‥‥


お仕事で最近 あんまり会えないし
……さびしいよ
小狼は さびしくない？
……さびしいよ
でも 遺跡発掘は おれと 父さんの……
うん 分かってる
大事な 夢だよね
分かってるけど でも……
やっぱり 会いたくなるの
お城のお部屋でね 夜 寝る時 いつも考えてる
小狼 何してるかなって わたしのこと ちょっとでも 考えてくれるかなって

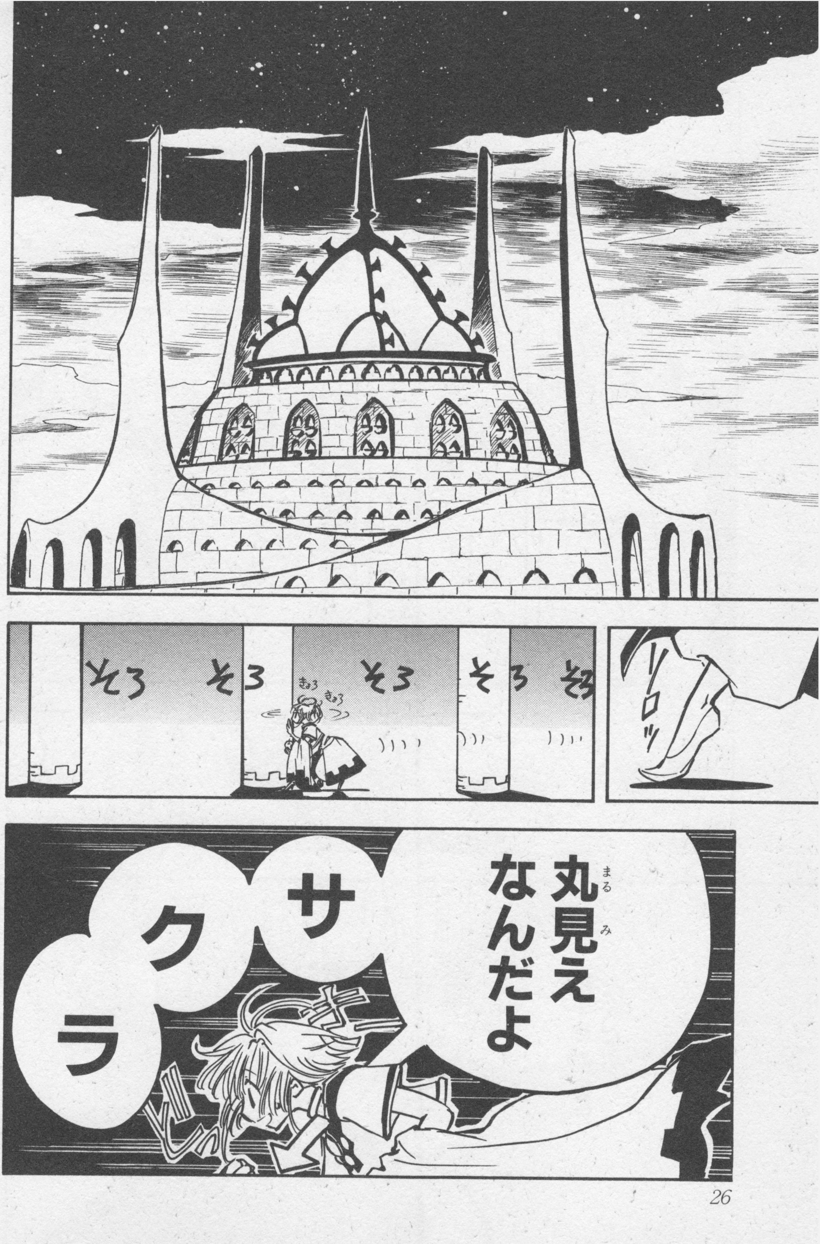

……考えてるよ
どうしてるのかなって……
おれも 考えてる
あのね……
わたし……
えっと
小狼にね
言いたいことが
ある
の
?
なんだ?


あの
あのね
わたし
小狼（シャオラン）のこと……


お城の鐘だ
もう 夕刻なんだな
リーンゴーン
……
だ大丈夫か？
どきどきどき
う——
び……びっくりしただけ
なんか お城の鐘で兄様に邪魔された気がする——
？
何が邪魔だって？
ゴォーン
鐘が鳴ったから戻らなきゃ
兄様ここまで来ちゃう
送ってくよ
ううん 小狼お仕事で疲れてるもん大丈夫 ひとりで帰れるよ
この国は素敵な人達ばかりだから


本当にそうだな
父さんと一緒に
色んな国を
巡ったけど
こんなに平穏な国は
他にないよ
ありがと
あの
あのね
さっきの‥‥
言いたいこと
次に会った時
言うね
あ
うん
絶対 言うから
待ってて
ね


あ
姫様だ
おや 姫さま
こんにちは
こんにちは
おばさん!
お顔が赤いね
なんでもないの!
姫様 リンゴ
持ってくかい?
ありがとう!
おいしそう
……こんな
気持ちに
なるのは
まずいよね
父さん
いくら
幼なじみだって
相手はお姫様
なんだから


そろ
そろ
そろ
そろ
そろ
きょろ
きょろ
ソロッ
丸見えなんだよ
サクラ


どーん
あう。
た・・・・・
ただいま桃矢兄様
またあの発掘小僧のところか
小僧じゃないもん小狼だもん！
あんなガキ小僧で十分だ



ガキじゃないもん！
小狼 ひとりで暮らしてて
お仕事も頑張ってて
えらいんだもん！
えらかろーがガキはガキだ！
ちがうもん!!
くすくす
その辺りになさったらいかがですか？
王姫
雪兎さんっ！
神官のおつとめは終えられたんですか？
ぱたぱた
ええ
遺跡の発掘隊の方々がご報告にいらっしゃるとのことでしたので
王と共にこちらでお待ちしていたんです


兄様 また我が儘いいませんでした？
おまえじゃあるまいし
なんですって――！
玉座で
ちゃんと聞いておられましたよ
発掘 もう随分進んだんですか？
そのようですね
じゃ そろそろ終わりそうなんですか？
いいや
遺跡は地上に出てるものだけじゃないらしい


ええ!?
地下に続く道を発見したようです
どれだけの広さかは分からんが掘り進めてみるように許可を出した
だから
まだまだ発掘作業は続くということだな
あのガキも
まだ まだ まだ まだ まだ まだ
ガギーー
ニヤリ
忙しい……と
わ…分かってるもん!
小狼 お父様と同じで遺跡とか 歴史とか大好きだから
イー
新しい遺跡があるって分かったらきっと喜ぶからいいんだもん!


ぱたぱた
また意地悪されて
いけませんよ
王
二人きりの時に敬語はやめろ
雪兎
けど
公には王と神官でも
役職をはがせばただの幼なじみだろう
はい
あ
うん
腹立つんだよ
あのガキ


本当に妹姫が可愛くて仕方ないんだね 桃矢は
一応 あれでもこの国 玖楼国たったひとりの姫君王位第一継承者だ
まあ
普通に考えたら一般人とお付き合いってのは考えられないだろうな
けれど運命のひと
なんだろ あれが
うん
小狼君だよ
桜姫の運命のひとは



おまえの予見が違えるわけがない
とすると
キ
パッ
やっぱり腹立つ
でも
二人には困難が待ってるとも視えた
とてつもない困難が
…姫には不思議な力がある
それが何なのかは僕には分からない
けれどそれは…


世界を変える
力だ
そして その力が
困難と波乱を呼ぶ

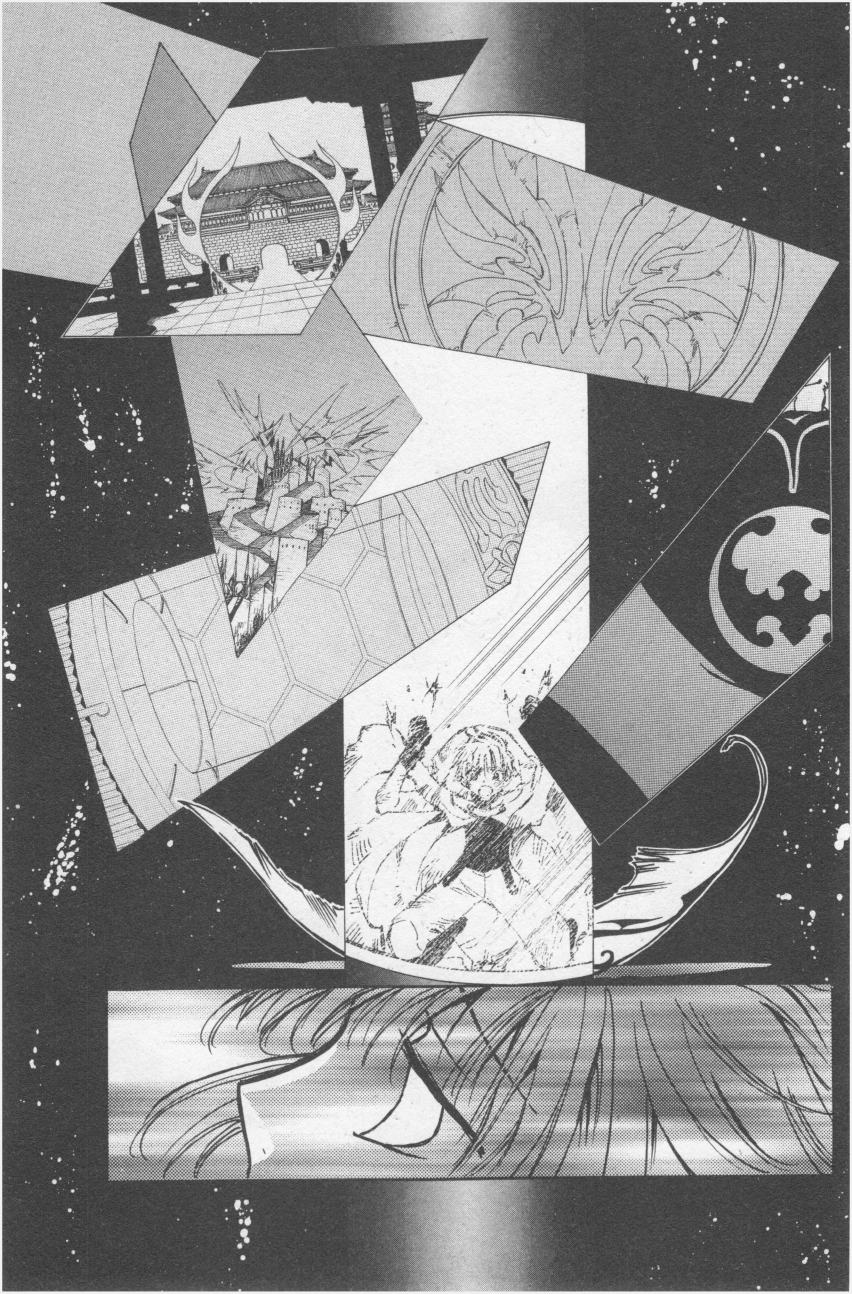


・・・俺達に手助けできることならいいんだがな・・・・
・・・・・うん
でもできることがなくても
二人でっていうのが気にくわないけどな
きっと二人なら力を合わせて頑張れると思う
しょうがないな桃矢は
スタ スタ スタ
もー


兄様
いぢわるばっかりなんだから！
きれい……
あの下にまだ何かあるんだ
小狼きっと喜ぶだろうな
そうだ！お弁当持ってこうっ！そしたらお昼休み時間だけでも一緒にいられるし
明日こそ言おう


小狼に
・・・・好きって
え？
何の音？
きれいな・・・・
澄んだ音・・・・


鈴・・・・?
何かがぶつかるみたいな
遺跡のほうから聞こえる?
・・・・まるで・・・・
呼んでるみたい




……今の……
なに？
……あれ……
小狼……？




ガヤ
ガヤ
ガヤ
ガヤ
ガヤ
ガヤ
カン
カン
ガッ
これ 何の紋章だろう
この国のとも違う
見たこともないものだ


小狼！
はっ
ぶんぶん
ど どうして!?
お弁当持ってきたの！
外にいた人に聞いたら
小狼 ここだって
ここは危ない
地盤も安定してないし
いつ落石してくるか
それに王様も心配して‥‥
大丈夫
兄様も一緒だもん
発掘の視察だって
あ‥‥
これ‥‥



ここは地下の通路みたいなんだけど
ここで行き止まりなんだ
すごく硬い岩らしくて
どんな機材でも
これ以上 掘れないし
これ……
昨日 見た……
え？


パラ
なんだ!?


さくら!!
なんだ!?
地震か!?
崩れるぞ
気を付けろ!


違う……
地震じゃない
地下で何かあったんだ！
ああ！
こいつらどこから現れたんだ!?

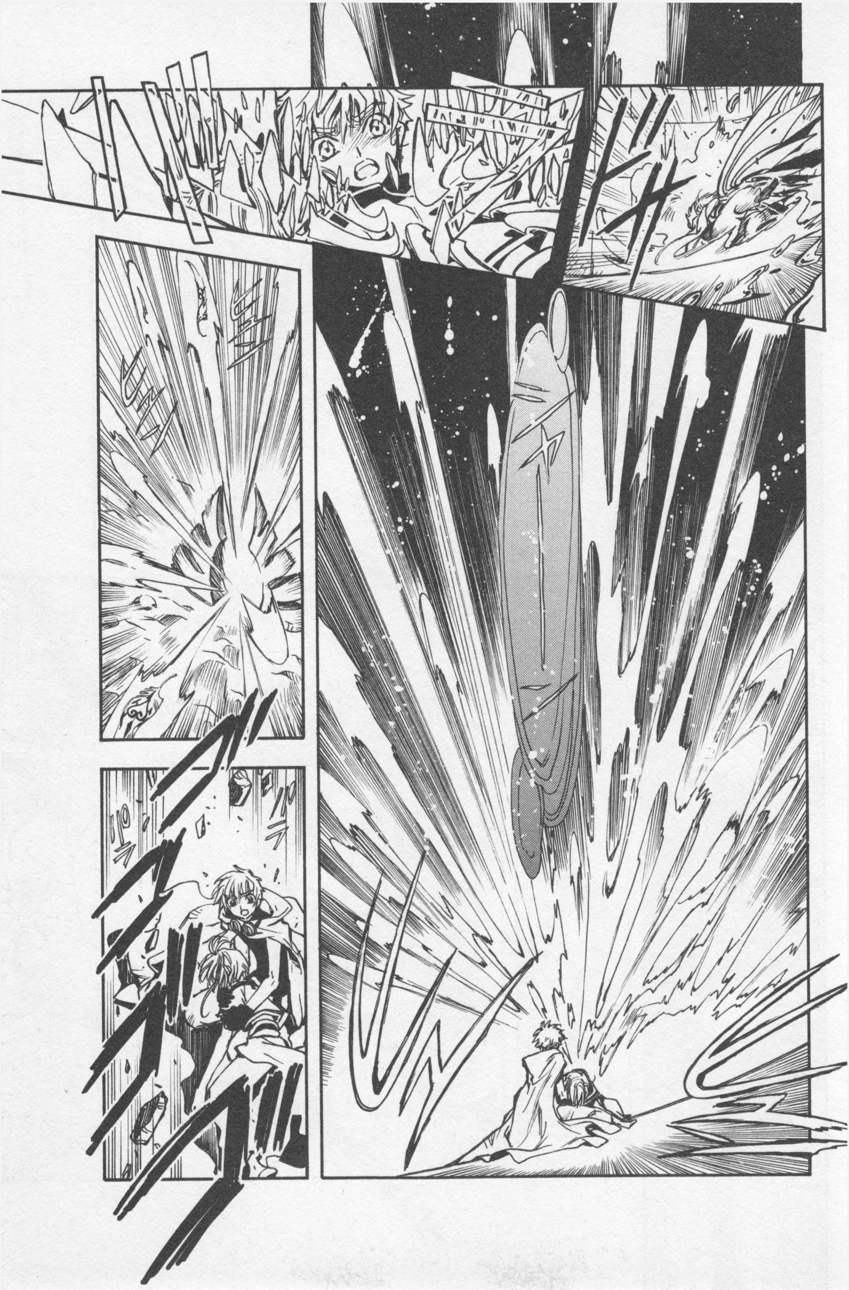

さくら！
これは・・・・！！


さくら！
さくら!!
……なんだ……!?




行方を指し示す
翼
次元を越える力
今
その力が蘇る


さくらー!!




さくら！
さくら！
体が・・・・どんどん冷えてく！
外に出なきゃ！
・・・・失敗しましたね


しかし すべては これからだ
すべてが終わった時
この手に
次空を超える力が 手に入る


ガラ
なにが・・・・・!!
遅いぞ 小僧
桜に怪我させてないだろうな
王!
大丈夫ですか!?
相手の刃に毒が塗ってあったようですね


王を死なせたりはしません絶対に
姫は・・・・
遺跡の下にまた遺跡があってそこで・・・・！
貴方の記憶を読みとりました
姫の羽根は飛び散ったのですね
はい！


スッ
……その羽根は姫の記憶です
ここ……ろ?
姫の中から生まれてから今までのすべての思い出が消えているんです
そして……
散った記憶は既にこの世界にはない……
そんな!


心が無くては
躯は
虚ろな容器に
過ぎない
このままでは
……
姫は……
おれにできることはないですか！
何か！
ギュ
一刻の猶予もありません
全ての責は
私が負います
シュルル
これから 別の世界に
住む人の元に
あなた達を送ります
シュル
同じ月の力を持つ
あの人の元へ



あの人って誰ですか!? そこへ行って どうすればいいんですか!?
あの人は『次元の魔女』と呼ばれています
あの人にすべてを話して下さい そして……!


姫を救う手立てを……!


さくら!!





あなたが・・・・・
次元の魔女ですか!?
そうとも呼ばれているわね


さくらを
助(たす)けて下(くだ)さい！

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE



Chapitre.2 記憶の対価


日本国
はーーははっ！
弱ぇ！弱ぇ！
てめぇら！
仮にも刺客だろ!?



もうちょい骨のあるヤツぁいねぇのか⁉
あー?!
また言いつけを守りませんでしたわね
黒鋼
姫か
タッ
白鷺城に忍び込んだ不届きもんは全部片付けたんだ 文句はねーだろ


無駄な殺生はせぬようにと
申しつけておいたでしょう
掛かって来るヤツぁ斬る 忍者の基本だろ 知世姫
ドカドカ
そんな基本は聞いたことがありませんわ
あーー
うるせー
黒鋼！ 姫様になんという無礼な‥‥
良いのです 蘇摩
蘇摩のような良い忍者もいるというのにどうして黒鋼はああでこうなのでしょう
忍者にイイもワルイもあるか
ケッ



俺は強くなりてぇんだよ もっと
誰よりも強く
そのための戦いだ
誰が死のうが 生きようが 構ってられっか
確かに
この国 日本国には 貴方より 強いものは いません
仕方ありませんわね
あ？
なんだ なんだ!?

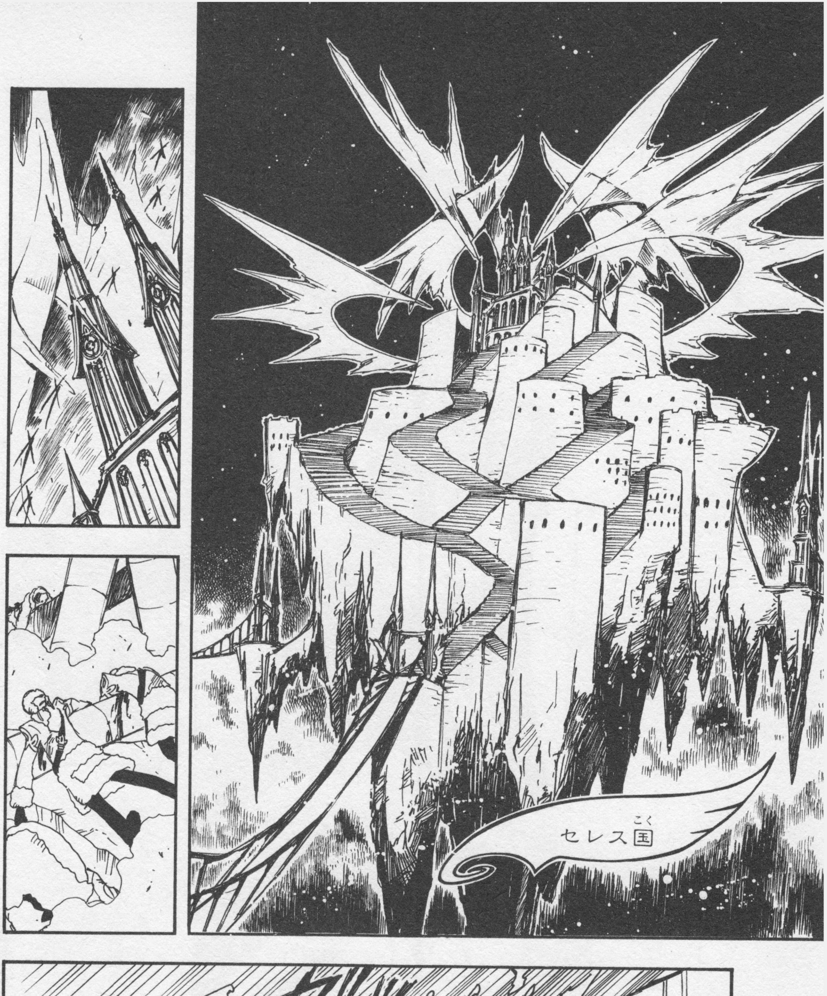

どわっ！
昔から良くいいます
悪い子には旅をさせよ
ほほほ
いわねェよ!!
これから貴方を
異界に飛ばします
飛ばすな——!


貴方はきっと
たくさんの人々に
出会うでしょう
そこで
本当の意味での
強さを知るでしょう
そのために
別れは
辛いことですが
私は貴方を
見送りましょう
いや
おめぇが
送ってんだよ!
無理矢理!!
ああ
そうですわ
もうひとつ
貴方に術をかけて
おきましょう
なんだ こりゃ!



「呪」です
貴方がこれ以上無駄な殺生をせぬように
貴方が一人殺める度に貴方の強さは減っていきますので気を付けて下さいませね
ふざけんな！知世ー!!
うるぁ！
ほほほほ
では
縁があったらまた会えるでしょう
あわあわ
姫様を呼びすてにー！
元気でお過ごし下さいね
黒鋼
てめー！覚えてろよーー!!


姫様 あの 黒鋼は‥‥
旅が
「あの方」の元に 送りましたから きっとよしなに計らって 下さるでしょう
……始まりますわ


セレス国(こく)


眠っちゃったの？
王様


うん
これしか方法がなかったからなぁ
これからどうするの？
ファイ
もう この国にはいられないなぁ

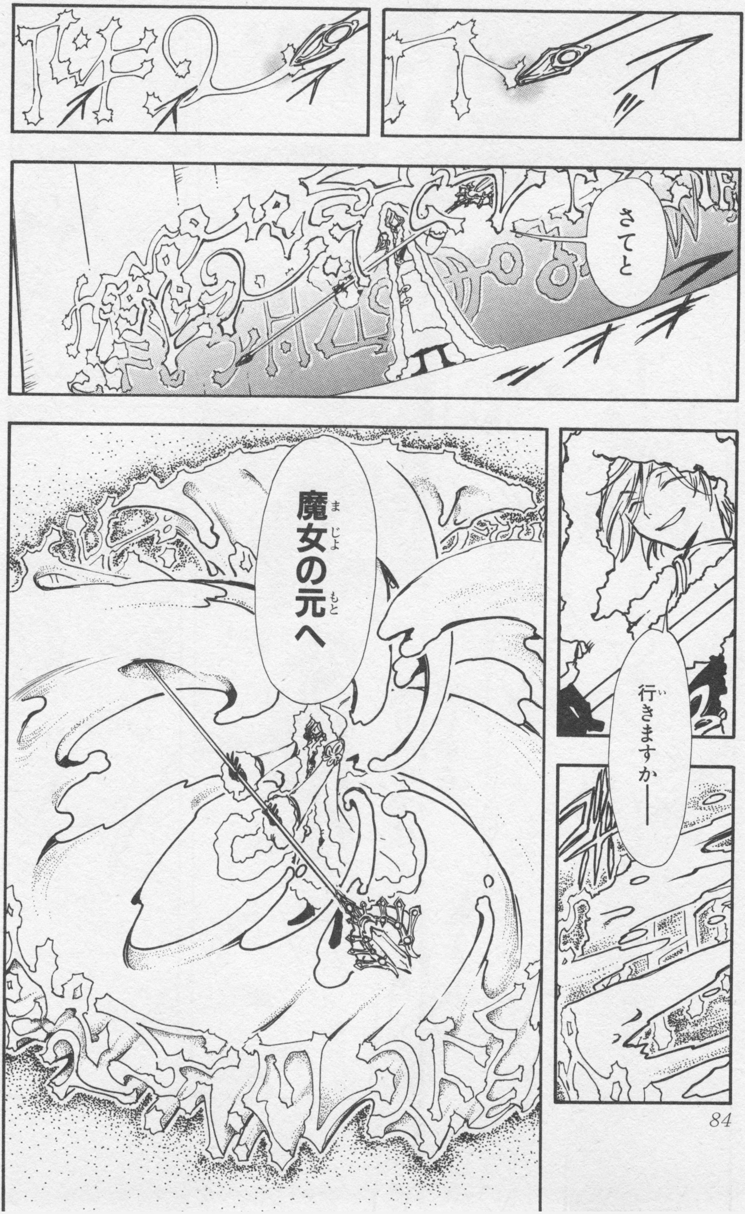

や
この世界には
か
世界？
この次元にはってこと
良く分からない
ん
よしよし
いいんだよ――
チィはそれで
おっと――
あんまり時間がないなぁ
ふわ
チ？
行かなきゃならないんだよ
どこに？

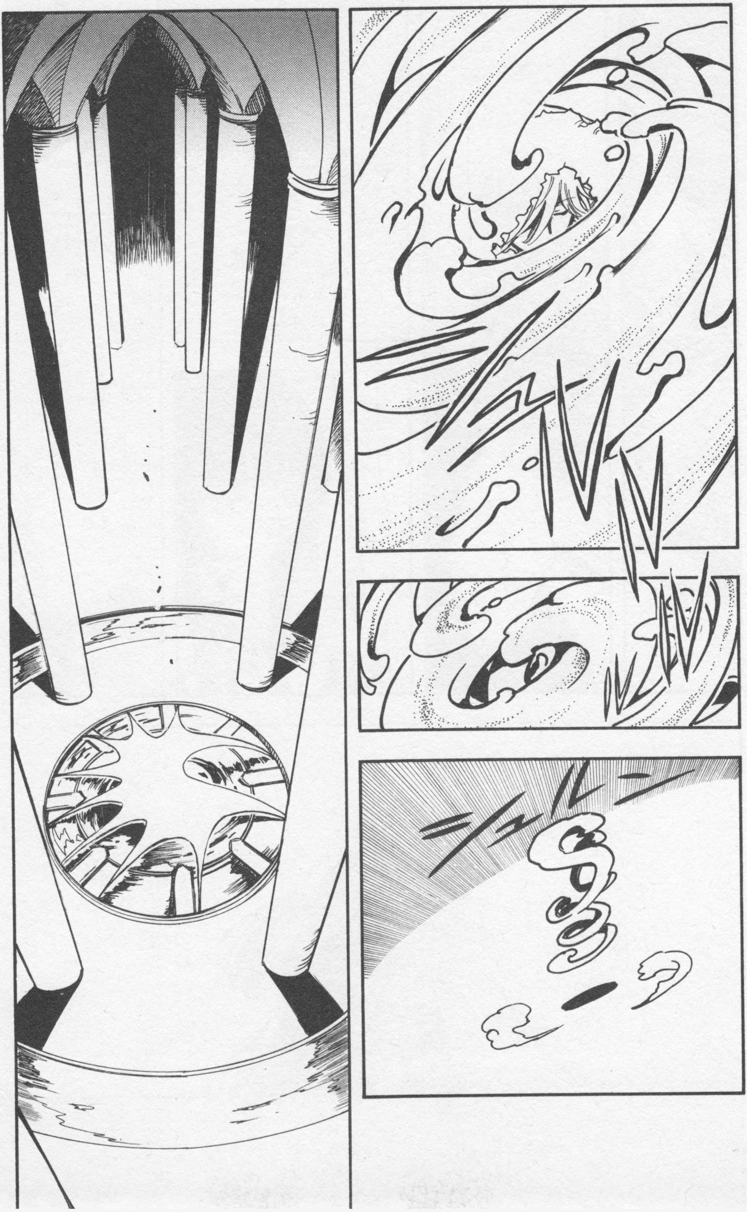

遠くに
できるだけ遠くに
アシュラ王がいない世界へ


チィに頼みたいことがあるんだ――
なぁに？
もしも王が目覚めたら教えて欲しいんだ
だからちょっと姿を変えてもらっていいかなぁ
うんいいよ
チィはファイがつくったんだから




せめて
眠りの中では良い夢を


さてと
行きますか——
魔女の元へ


シュルン


サアアアア
この子の名は さくら（サクラ）というのね
はい
あなたは？
小狼（シャオラン）です
この子は 大切なものを なくしたのね
……はい


そして・・・・
それは色んな世界に飛び散ってしまった
このままでは
この子は死ぬわ
ギュッ


四月一日
はいっ！
宝物庫に行って来て取って来て欲しいものがあるの
その子を助けたい？
あ えっと あの
パタパタ
はい！
対価がいるわ それでも？
おれにできることなら！


……来たわね






ああん？
貴方が次元の魔女ですかー？
てめぇ誰だ？
へにゃ
先に名乗りなさいな
俺ぁ黒鋼
つかここどこだよ
なんだ？まわりの妙な建物は
日本よ
ああ？俺がいた国も日本だぜ
それとは違う日本
わけわかんねぇぞ
さっぱりだ！
あなたは・・・・



セレス国の魔術師ファイ・D・フローライトです――
ここがどこだか知ってる？
え――
相応の対価を払えば願いをかなえてくれる所だと
その通りよ
さて
あなた達がここに来たということは
何か願いがあるということ


元いた所へ今すぐ帰せ
元いた所にだけは帰りたくありません
ギロ
それはまた難題ね
ふたりとも
いいいえ
三人とも
かしら


その願い あなた達が持つ
もっとも価値あるものでも
払いきれるものではないわ
けれど
三人一緒に払うなら
ぎりぎりって所かしら
なに
いってんだ
てめー？
ちょい静かに頼むよぉ
そこの黒いの
おーい
黒いのじゃ
ねぇー！
黒鋼だっつの!!
あなた達
三人の願いは
同じなのよ


その子の飛び散った記憶を集めるために色んな世界に行きたい
この異世界から元の世界に行きたい
元の世界へ戻りたくないから他の世界に行きたい


目的は違うけど手段は一緒
ようは違う次元異世界に行きたいの
ひとりずつではその願いかなえることはできないけれど
三人一緒に行くのならひとつの願いに三人分の対価ってことでOKしてもいいわ
俺の対価ってなんだよ
その刀
なっ！
銀竜はぜってー渡さねぇぞっ!!


いいわよ
そのかわり そのコスプレな格好で この世界を歩きまわって 銃刀法違反で 警察に捕まったり テレビに取材されたり するがいいわ
あ？ けいさ？ てれ？
今 あなた達がいる この世界には あたし以外に異世界へ 人を渡せるものは いないから
んな デタラメっ！
本当だぞー
マジ かよ!?
どうするの？


チ
くっそー！
絶対「呪」を解かせたら
また戻って来て
とりかえすからな！
あなたの対価は
そのイレズミ


この杖じゃダメですかねぇ
だめよ
言ったでしょ対価はもっとも価値のあるものをって
仕方ないですねぇ


あなたはどう？
自分の一番大切なものをあたしに差し出して
異世界に行く方法を手に入れる？
はい
あなたの対価が何かまだ言ってないのに？
はい
あたしができるのは異世界へ行く手助けだけ
その子の記憶のカケラを探すのはあなたが自分の力でやらなきゃならないのよ


……はい
……いい覚悟(かくご)だわ
来(き)たわね
バタバタ
って　ふえてるし――!


この子の名前は モコナ＝モドキ
モコナがあなた達を 異世界へ連れて行くわ
しゅたっ
おい もう一匹 いるじゃねぇか そっち寄こせよ
俺ぁ そっちで 行く
そっちは 通信専用
あら 便利なのよ
できることは こっちのモコナと 通信できるだけ
モコナはあなた達を 異世界に連れて行くけれど そこがどんな世界なのかまでは コントロールできないわ
だから いつ あなた達の願いが かなうのかは 運次第


けれど 世の中に 偶然はない
あるのは必然だけ
あなた達が 出会ったのも また 必然
小狼 あなたの 対価は・・・・
関係性


あなたにとって一番大切なものは
その子との関係
だからそれをもらうわ
それってどういう・・・・？
もしその子の記憶がすべて戻っても
あなたとその子はもう同じ関係には戻れない



その子はあなたにとってなに？
幼なじみで・・・・
今いる国のお姫様で・・・・
俺の・・・・
俺の大切な人です



・・・・そう
けれど
モコナを受け取るなら
その関係はなくなるわ
その子の記憶をすべて
取り戻せたとしても
その子の中に
あなたに関する
過去の記憶だけは
決して戻らない
それが
あなたの
対価
それでも？


……行きます
さくらは絶対 死なせない！


Chapitre.3 必然の羽根



…異界を旅するということは想像以上に辛いことよ
様々な世界があるわ
例えば
そこの二人がいた世界
服装を見ただけでも分かるでしょう
どちらもあなたがいた世界とは違う


知っている人
前の世界で会った人が
別の世界では
全く違った人生を
送っている
同じ姿をした人に
色んな世界で何度も
会う場合もあるわ
前に優しくして
くれたからといって
今度も味方とは限らない
言葉や常識が全く通じない世界もある
科学力や生活水準
法律も世界ごとに違う
中には犯罪者だらけの世界や
嘘ばかりの世界や
戦の真っ最中という世界もある
その中で生きて
旅を続けるのよ
何処にあるのか
何時すべて集まるのか分からない
記憶のカケラを探す旅を


でも
決心は揺るがない……のね
……はい
覚悟と誠意
何かをやり遂げるために必要なものが
あなたにはちゃんと備わっているようね
では


行きなさい






ぽくんっ
ポツ
ポツ
ピチョン
……どうか


彼らの旅路に幸多からんことを


さくらは
おれの一番大事なひとだ
これからも ずっと一番大事なひとだ
だから


何があっても
何をしても
絶対に死なせない
例え　さくらがおれを忘れても
絶対に
さくら!!


ぷう
みたいな
ぱち
さ……くら……
…ツっこんでくれない
しくしく…
ヒョイ
あー
目覚めたみたいだねぇ
さくら！


ぎゅっ
一応拭いたんだけど
雨でぬれてたから
モコナもふいたー！
寝ながらでもその子のこと絶対離さなかったんだよ
君――
えっと・・・・
えへーえへーほめてー
小狼です


こっちは名前長いんだー
ファイでいいよー—
ぴょんっ
で
そっちの黒いのはなんて呼ぼうか——
ぴょん
黒いのじゃねぇ!
黒鋼だっ!
くろがねねー—
ほいほい
くろちゃんとかー?くろりんとかー?
うわっ
おいてめっ!何膝のってんだ!!
ぽすっ
体
氷みたいだ・・・!


このままじゃ
記憶のカケラを探す前に
さくらが……!
うわっ!!
ごそごそ
ん――…?
なにしてんだてめぇ
さわさわ
これ記憶のカケラだねぇ
その子の
え!?
君にひっかかってたんだよ
ひとつだけ
ぴょん



あの時飛び散った羽根だ
これが
さくらの記憶のカケラ


体が……
暖かくなった
ほっ
今の羽根がなかったらちょっと危なかったね
おれの服に偶然ひっかかったから……
この世に偶然なんてない


って
あの魔女さんが
いってたでしょ——
だからね
この羽根も 君が
きっと無意識に
捕まえたんだよ
その子を
助けるために
なんてね——
良くわかんないん
だけどね——
……
くにゃん
……
けど これからは
どうやって
探そうかねー
もう服には
くっついてない
みたいだしねぇ
羽根


はーーい
はいはいっ
モコナ分かる！
え？
ぴょん
今の羽根すごく強い波動を出してる
だから近くなったら分かる波動をキャッチしたら
くるくる
モコナこんな感じに
めきょっ
げっ！
なる



だったらいけるかも
しれないね——
近くになればモコナが
感知してくれるなら
ばくばく
ばく
どきどき
教えてもらえるかな
あの羽根が
近くにあった時
まかしとけ！
……ありがとう
おまえらが羽根を探そうが
探すまいが勝手だがな
俺にゃあ
関係ねぇぞ


俺は自分がいた世界に帰る
それだけが目的だ
おまえ達の事情に首をつっこむつもりも手伝うつもりも
全くねぇ
はい
これはおれの問題だから
迷惑かけないように気をつけます
あはははは── 真面目なんだねえ 小狼くん──
?


そっちはどうなんだ
んん?
そのガキ手伝ってやるってか?
ん——そうだねぇ
とりあえずオレは元いた世界に戻らないことが一番大事なことだからなぁ
ま 命に関わらない程度のことならやるよ——
他にやることもないし


よう！
目ぇ覚めたか！
んな警戒せんでええって
侑子さんとこから来たんやろ
ゆうこさん？
あの魔女の姉ちゃんのことや
次元の魔女とか極東の魔女とか色々呼ばれとるな



これを
あ！ありがとうございます
わいは有洙川空太
嵐です
ちなみに わいの愛する奥さん ハニーやから
無視
ヒョイ
そこんとこ心に刻みまくっといてくれ


はーこんなハニーと結婚できてわいは幸せやー
ほわー
小狼です
どうぞ
ぺこり
つーわけでハニーに手ぇ出したらぶっ殺すでっ♥
ぽん
くるり
なんで俺だけにいうんだよ!!
ノリやノリ
ノリは命や!
あはははは
でも本気やぞ!
いい笑顔
出さねぇっつの!!



さて
ひょい
とりあえずあの魔女の姉ちゃんにこれあずかって来たんやな
しゅたっ
モコナ＝モドキ！
長いなモコナでええか
おう！ええ！
事情はそこの兄ちゃんらに聞いた
主にそっちの金髪のほうやけどな
黒いほうは愛想ないな、ほんま。



とりあえず兄ちゃんらプチラッキーやったな
えーっと
どのへんが——？
モコナは次に行く世界を選ばれへんねやろ？
それが一番最初の世界がココやなんて幸せ以外の何もんでもないで——
ここは


阪神共和国やからな
のみだおれ
HANSIN



ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


Chapitre.4 戦うチカラ


ここは阪神共和国
とってもステキな島国や!
まわりは海にかこまれとって
時折 台風が来るけど
地震は殆どない
海のむこうの他国とも交流は盛んやで
貿易もぶいぶいや
四季がちゃんとあって
今は秋
ごはんが美味しい季節やな!
春
花見で一杯
夏
ビールがおいしい
秋
ごはんがおいしい
冬
おなべがおいしい
主食は小麦粉
あとソースが名産や!
虎ソース
ピシ
法律は阪神共和国憲法がある
ぽろ
他国と戦争はやってない
移動手段は
車
自転車
バイク
電車
船
飛行機
あとは—
乳母車も一応
移動手段かな
ハニー
………


島の形はこんな感じ
形が虎っぽいんで通称「虎の国」とも呼ばれとるんや
そやから阪神共和国には虎にちなんだモンが多い
通貨も虎やしな
一虎とか十万虎とかや ちなみに国旗も虎マーク
野球チームのマークも虎や!
……
この野球チームがまたええ味だしとってなぁ! むちゃくちゃ勇敢なんやで!
ま 強いかっちゅうと微妙なんやけど
おっと場外乱闘は得意やで
はーい
質問いいですかー?



はい ファイ君
この国の人たちは みんな 空汰さん みたいなしゃべり方 なんですかー？
やきゅーー？ なんだそりゃ
んな 水くさい 空ちゃんでええで
はーい
はーい
空ちゃん
……
わいのしゃべり方は特別 これは古語やからな
この国で過去 使われていた 言葉なんですか
そうや もう殆ど使われてへん 言葉なんやけどな
わい 歴史の教師やから 古いもんがこのまま なくなってしまうんも なんや忍びないなぁと
春
ぷぅんっ
歴史の先生 なんですか


おう！
なんや
小狼は歴史
興味あるんか
はい
前にいた国で
発掘作業に
携わっていたんで
そりゃ 話が合うかも
しれんな――
もうひとつ 質問でーす
はーい
はーい
で
ここは
どこですかー？
誰かの部屋
ですかー？
ええ
質問や！
ここは
わいと嵐がやってる
下宿屋の空き部屋や
………
ええやろ〜
美人の管理人さん
やでー。そのうえ
料理上手やー
うっとり…


そこ
寝(ね)るなー!
なにい!?


なんの気配もなかったぞ!
きょろきょろ
てめぇ なんか投げやがったのか!?
投げたんならあの角度からは当たらないでしょ――
真上から衝撃があったみたいだし?
何って
・・・くだん 使たに決まってるやろ


クダン？
知らんのか!?
そっかー
おまえさんら異世界から来たから分からんねんなー


この世界のもんにはな
必ず巧断が憑くんや
きゅっ
巧断
漢字はこう書く
あー
なるほど
あははははは
全然 わからないー
巧断
モコナ読めるーー!
すごいねぇ
モコナは
えへへー
小狼は?
うん
なんとか
黒鋼と小狼の世界は漢字圏やったんかな んで ファイは違うと
けど聞いたりしゃべったり言葉は通じるから不思議やな
ふむふむ
きゅっ
あはははは



で
巧断ってのはどういう代物なんだ？
さっき「憑く」っつったよな
例え異世界の者だとしてもこの世界に来たのならば必ず巧断は憑きます
サクラさんとお呼びしてもよろしいですか？
……はい


サクラさんの記憶のカケラが
何処にあるのか分かりませんが
もし誰かの手に
渡っているとしたら……
争いになるかも
しれません
今
貴方たちは
戦う力を失って
いますね
どうして
そうだと？
うちの嵐は
元巫女さんやからな
霊力っつうんが
備わってる



ま
ふ
今は わいと結婚したから引退したけどな
巫女さん姿はそりゃ神々しかったでー
もえもえや～
えへへ
無視
てへ
実は——
次元の魔女さんに魔力の元を渡しちゃいましてー
俺の刀をあのアマ——



おれがあの人に渡したものは力じゃありません
魔力や武器は最初からおれにはないから
やっぱり貴方は幸運なのかもしれませんね
え？
この世界には巧断がいる
もし争いになっても巧断がその手立てになる
巧断って戦うためのものなんですか


何に使うか
どう使うかは
そいつ次第や
百聞は一見にしかず
巧断がどんなもんなんかは
自分の目で 身で
確かめたらええ


さて
この国のだいたいの説明は終わったな
こくこく
エラ断
あれでかよ
ん？
で
どうや
この世界にサクラちゃんの羽根はありそうか
……ある
まだ ずっと遠いけど
この国にある



探すか
羽根を
はい!
兄ちゃんらも同じ意見か?
とりあえず——
移動したいって言や するのかよ
その白いのは
しない
モコナ
羽根がみつかるまでここにいる

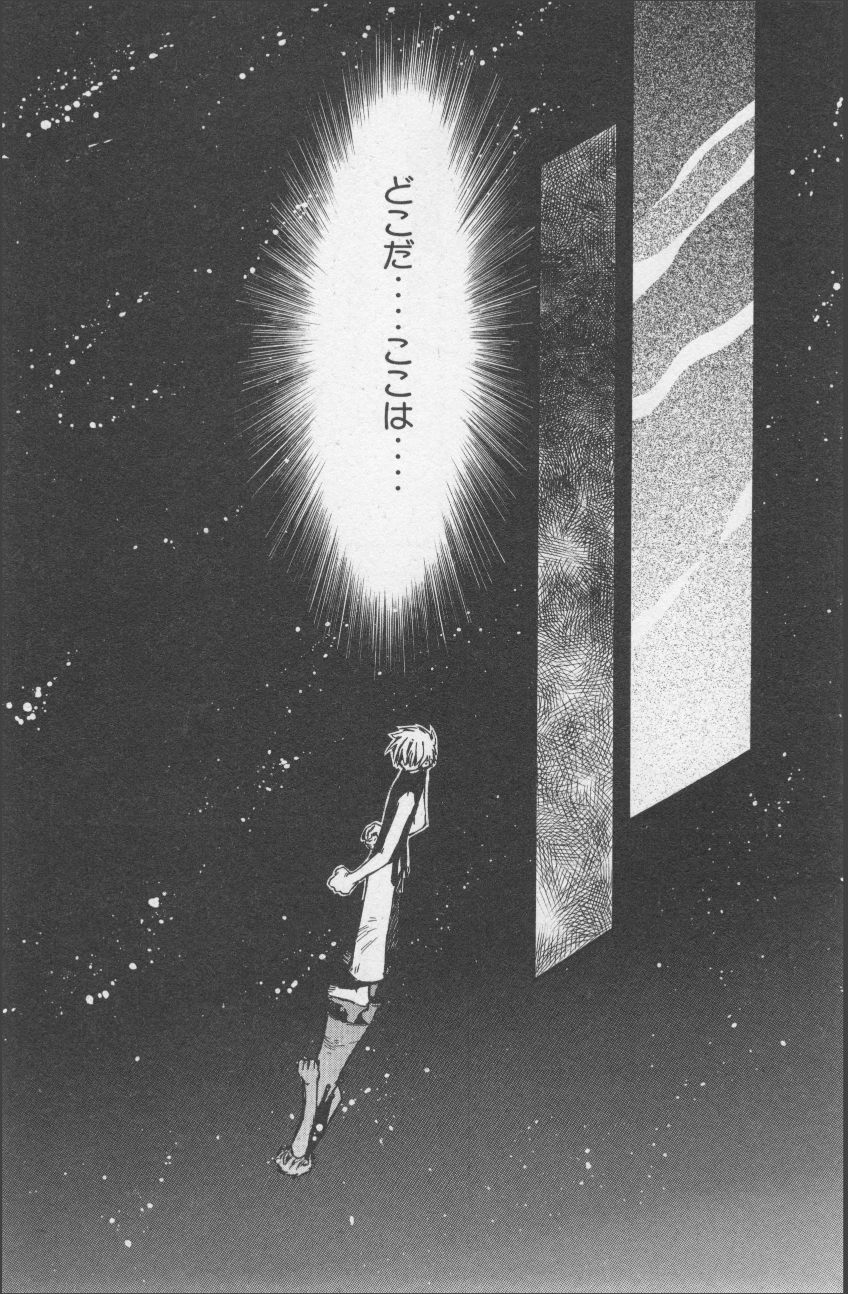

ムスッ
ありがとう モコナ
よっしゃ んじゃ この世界に おるうちは わいが面倒みたる！
な―
ぎゅ
侑子さんには 借りがあるさかいな
ガラ ガラ ガラ
ここは下宿や 部屋はある
次の世界へ行くまで 下宿屋に住んだらええ
ありがとう ございます



もう夜の十二時過ぎとる
そろそろ寝んとな
部屋案内するで
おっと ファイと黒鋼は同室な
ガラ ガラ
はーい
なんだとー!?
この部屋を使って下さい
なんでこんな得体がしれねえやつと!
得体は知れてるはー 名乗ったでしょー
ガラガラ
ありがとうございます
モコナも名乗ったー
てめぇはさらに得体がしれねぇっ
サクラさんは・・・・
側にいたいです



分かりました
でも 少しでも 眠らないと いけませんよ
これからこの国で 何が待ってるのか 何が起こるのか 分かりません
休める時に 休んでおかないと
ここはわいと嵐が守る
ぴょん
モコナ 小狼と寝るー
安心して寝たらええ
・・・・はい
パターン
ばいばい


どこだ・・・ここは・・・・


誰か来る……!?
炎?


我は
炎を司るもの達の主
我に相応しいものを
永い間 待ち続けていた
力が欲しいか
…欲しい


我を宿し
力を得
何を欲する
少年よ
汝の愛するものを思う
心の強さ
確かに認めた
大切な人を守りたい


ぷう
すやすや
……夢？
熱い…？


Chapitre.5 覚醒の瞬間


つうわけで
部屋ん中でじっとしとってもしゃあない
サクラちゃんの記憶の羽根を早よ探すためにも
この辺 探索してみいや
阪神共和国
はーい
はい
……
おっと!
先生が遅刻したらしゃれにならんでー
わいはそろそろ出かける時間や
歩いてみたら昨日言うとった巧断が何かも分かるはずやで
はい


サクラさんは 私が側にいますから
……はい
その白いのも連れていくのかよ
白いのじゃない——モコナ——！
ぱっ
来んなっ！
モコナ連れてかな羽根が近くにあっても分からんからな
大丈夫だーれもモコナをとがめたりはせん
つうか この世界ではありがちな光景やさかいな
モコナが白いのならこのひとは黒いのだよね——
ねー
ああ～？！
え？


うし！
ばーん
んじゃ これ！
お昼御飯代 入ってるさかい 三人で仲良う食べや
ま、朝食べた わいのハニーのメシほど うまいもんは ないけどなー
ぽす
なんで そのガキに 渡すんだよ
一番 しっかりしてそう やから！
キラ
キラ
どういう 意味 だよ!!
あはははは
コクリ
ザワ
ザワ



にぎやかだねー
ひと いっぱーい!
なんだあの妙ちくりんなモノは?!
でっかい建物と小さい建物が混在してるんだ――
小狼君はこういうの見たことあるー?
ないです
黒たんは――?
ねぇよ!
んでもって妙な呼び方するな!!


くすくす
まるい～
くすっ
くすくす
笑われてっぞ おめぇ
てへ
てれてれ
モコナもてもてっ！
モテてねぇよっ！
らっしゃい！
お兄ちゃんたち
リンゴ買っていかねぇかい!?
ぇ？
それリンゴですか？
これがリンゴ以外の何だっちゅうんだ！



小狼君の世界じゃこういうのじゃなかった――？
ひよこ
ん？
形はこうなんですけど色がもっと薄い黄色で‥‥
そりゃ 梨だろ
いえ ナシはもっと赤くてヘタが上にあって‥‥
それラキの実でしょ――？
で！ いるのか！ いらんのか！
うお!!
すぱっとな！
いる――!!
まいど!!
え!?



シャク
おいしいねー リンゴ
はい
こんな味なんだ
けど
ほんとに全然違う文化圏から来たんだねぇ オレたち
そいえば まだ聞いてなかったね 小狼君はどうやって あの次元の魔女のところへ来たのかなー
魔力とかないって言ってたよねー
ぴょん
おれがいた国の神官様に送って頂いたんです
すごいねー その神官さん 一人でも大変なのに 二人も 異世界へ同時に送るなんて
黒りんは——?
ぱくん
だからそれヤメろ!
うちの国の姫に飛ばされたんだよ! 無理矢理



悪いことして叱られたんだー？
うるせーっての!!
あははは
しかられんぼだー
指さすな！
きゃ
てめえこそどうなんだよ！
オレ？
ああ?!
オレは自分であそこへ行ったんだよー
だったら あの魔女頼るこたねぇじゃねぇか自分でなんとか出来るだろ
何のってんだ！
えへへ
無理だよー
オレの魔力総動員しても一回他の世界に渡るだけで精一杯だもん


小狼君を送ったひとも
黒ちんを送ったひとも
ころん
だから その呼び方やめろ!
物凄い魔力の持ち主だよ
でも
持てるすべての力を使っても
おそらく 異世界へ誰かを渡せるのは一度きり
だから 神官さんは小狼君を魔女さんのところに送ったんだよ


サクラちゃんの記憶の羽根を取り戻すには色んな世界を渡り歩くしかない
それが今 出来るのはあの次元の魔女だけだから
姫様 リンゴ持ってくかい？
ありがとう


あのね
町のひとが
リンゴ お城に
持ってきてくれたの
んしょ
だから
お裾分け
わたしが リンゴ
好きだって 聞いたから
どうぞって


この国のひとは
みんな
姫が大好きだから
かあっ


……さくら
きゃあああ！
なんだ


今度こそ お前ら ぶっ潰して この界隈は 俺達がもらう！
ヒュー
かぁっこいぃー
また ナワバリ 争いだーー！


このヤロー！特級の巧断憑けてるからって
いい気になってんじゃねえぞ！
巧断!?
熱い・・・・!?




え!?
あれが巧断か
最近の若いモンは!
この悪ガキどもーー!
モコナが歩いてても驚かれないわけだーー
またあいつらだ!






うわあああ！
ザッ
危ない!!



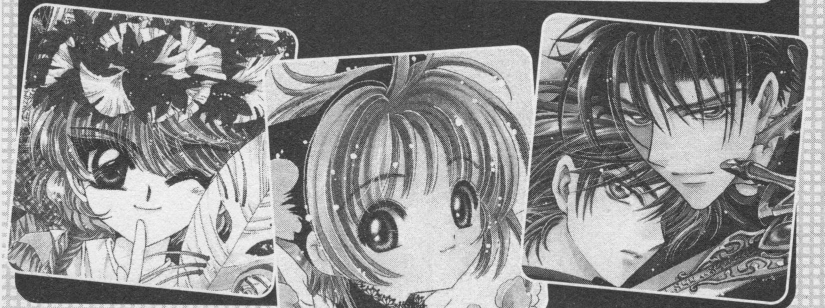



ゴオオオオオオ
おまえの巧断も特級らしいな

To Be Continued

掲載／週刊少年マガジン2003年第25号から第29号





『×××HOLiC』コミックス最新第5巻
大人気発売中!!

～×××ホリック～

定価:560円(税込)



四月一日ご指名の依頼がやってきた。
依頼主は、なんと雨童女！
だれかを助けてほしい、というのだが。
またしても犬猿の仲の百目鬼と組まされて、
怪事件にいどむ！

2005年『×××HOLiC』劇場版アニメ、全国ロードショー！

PRODUCTION I.Gにて制作進行中！ 配給:松竹

『×××HOLiC』は「週刊ヤングマガジン」で絶好調連載中！

CLAMP作品群!



魔法騎士レイアース

異世界・セフィーロを救うため、
エメロード姫によって召喚された三人の少女ー光、海、風ーの
冒険がいま始まる!

魔法騎士レイアース	全３巻……	定価：本体各660円（税別）
魔法騎士レイアース２	全３巻……	定価：本体各660円（税別）
新装版　魔法騎士レイアース	全３巻……	定価：本体各514円（税別）
新装版　魔法騎士レイアース２	全３巻……	定価：本体各514円（税別）





あなたは、この本を読んで、どのような感想をおもちになりましたか。
このほかに、「講談社コミックス」の中で、どんな本を読まれましたか。
このつぎには、どんな作家の、どんなまんがを読みたいとお考えですか。
コミックス編集の参考にさせていただきたいと思います。「読後の感想」と合わせて、左記のところあてにお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
（郵便番号一一二-八〇〇一）
「講談社コミックス」編集部

N.D.C. 726　191p　18cm

講談社コミックス　三二七七巻
ツバサ①
2003年8月12日　第1刷発行
2005年3月8日　第13刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者　CLAMP（クランプ）
発行者　五十嵐隆夫
発行所　株式会社　講談社
東京都文京区音羽二-一二-二一（郵便番号一一二-八〇〇一）
編集部（〇三）五三九五-三四五九
販売部（〇三）五三九五-三六〇八
印刷所　図書印刷株式会社
製本所　図書印刷株式会社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。電話（03）五三九五-三六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

ISBN4-06-363277-6

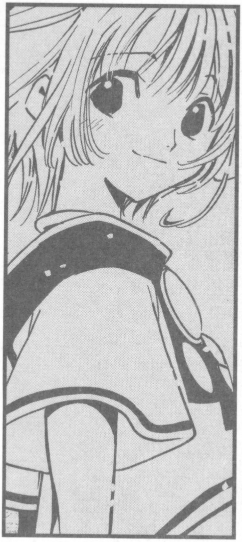
Printed in Japan

「翼」を探す少年の旅が始まる!!

玖楼国に住む小狼とさくら。立場の違いを越え想いを通わせる二人だったが，突如現れた刺客によりさくらに異変が起こり，全ての記憶を失くしてしまう！



――さくらを救う方法はただ一つ――『異世界に飛び散ったさくらの「羽根」を探し出すこと』





NHK教育テレビにて TVアニメ化決定!!

4月9日(土)18:30より放送開始(予定)!

原作 CLAMP

CLAMP

講談社

アニメ「ツバサ・クロニクル」は絶好調制作進行中!!

キャスト決定! 小狼:入野自由 サクラ:牧野由依 黒鋼:稲田 徹 ファイ:浪川大輔 モコナ:菊地美香